

世界遺産への道 第37回

構成資産決定に向けて 白熱した国際専門家会議

第3回「宗像・沖ノ島と関連遺産群」国際専門家会議が昨年11月1日から4日間、市内で開催されました。前半の2日間は、構成資産候補地を視察、後半の2日間は、大きな課題となっている構成資産の決定に向けて白熱した議論が展開されました。

今回の会議には、初参加のクリストファー・ヤングさん(イングリッシュ・ヘリテージ世界遺産国際政策担当責任者)ら国際専門家4人と、西谷正さん(九州歴史資料館館長)ら国内専門家5人に加え、研究をお願いしているさまざまな分野の専門家11人が参加。過去最大級の会議となりました。

これまでの会議では、「神社や古墳まで含める」と価値の証明が難しくなるため、構成資産をできるだけ絞り込むべきだ」という意見が多く出されてきました。しかし、今回の会議では、国際専門家を中心に「東アジアとの交流という視点で考えると、祭祀(さいし)をつかさどった宗像氏の存在を証明する古墳も入れることで、沖ノ島の価値がより高まる」などの意見が多く出されました。

また、「保存管理の観点から、周辺が開発の脅威や景観などに配慮が欠けている資産には、さらなる検討の余地がある」との意見も付け加えられました。

今後は、今回の議論を踏まえて構成資産の決定に向けた作業を進めていきます。価値証明はもちろんです。資産周辺の状況などを考慮しながら、構成資産を絞り込んでいくこととなります。

問い合わせ先 世界遺産登録推進室 (36) 1372

福岡市でシンポジウムを開催

主権「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議(福岡県、宗像市、福津市) 日時 2月12日(日) 午後1時~同4時30分 場所 JR九州ホール(福岡市博多区博多駅中央街1・1/JR博多シティ9階) パネリスト 白石太一郎さん(大阪府立近(ちか)つ飛鳥博物館長) 笹生衛さん(國學院大學教授)他 入場料 無料 申込方法 2月3日(金)必着で、①住所②氏名③電話番号を明記して、県世界遺産登録推進室シンポジウム事務局へ次のいずれかの方法で申し込む

ハガキ 〒812-577/住所不要) FAX 092(643)3163 E-mail sekaisan@pref.fukuoka.jp 申込者には入場券を送付 問い合わせ先 県世界遺産登録推進室 092(643)3162

「本遺産の価値証明」「コンセプト」と「構成資産」の3点でした。信仰や交流など、多角的に本遺産の価値とコンセプトを検討し、世界遺産としてどの資産がふさわしいのかをさまざまな角度から議論しました。



宗像大社中津宮で神官(左端)の説明を聴く専門家のみなさん

子どもたちも大喜び プロ野球・小久保裕紀選手が東郷小で「夢の課外授業」

2011年のプロ野球・日本シリーズで最高殊勲選手(MVP)を獲得し、日本一に輝いた福岡ソフトバンクホークスの小久保裕紀選手が昨年12月6日、東郷小学校を訪問。5、6年生を対象に「DREAM21~夢の課外授業~(二十一世紀倶楽部主催)」が開かれました。

この事業は、独立行政法人国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金助成活動」として実施。子どもたちに夢を与え、「生きる力」について考えるきっかけや、勇気を持って物事に立ち向かう大切さを知ってもらうために、スポーツや芸能などの分野で活躍する人々を小学校に派遣するものです。

講演で小久保選手は「将来に向けてしっかりと目標を持って、努力を重ねて夢をかなえてください。そのためには、目の前のことに全力で取り組むことが大事です」と、子どもたちに熱く語りかけました。

また、子どもたちからの質問コーナーでは、「けんかやトラブルの解決法はどうしたらいいですか?」には「何事もルールを守ることが大事」、「大人になる私たちが大切にしないといけないことはありますか?」には「きちんとあいさつをして礼儀を守り、素直な心でいることが大事」と答えていました。

講演後には、子どもたちとキャッチボールやバッティング指導などで交流を深めた小久保選手。子どもたちにとってスター選手との交流は、一生忘れない思い出のひとつとなりました。

▽地域野球チームに所属している田端凜々香(りりか)さん(5年) キャッチボールができるということで、前日はドキドキしながらグローブを一生懸命磨きました。小久保選手は軽く投げた感じなのに、ボールを捕ると「パーン」と音がしました。キャッチボールができて、うれしかったです。

▽長谷川寛静(かんせい)くん(6年) 小久保選手は子どもの時からプロ野球選手になる夢を持っていて、それを実現したのはすごいと思いました。

問い合わせ先 東郷小学校 (36) 2064

プロのスイングを真剣なまなざしで見つめる子どもたち



授業終了後、子どもたちとハイタッチをして別れる小久保選手



ホームページ改訂で 文化観光情報が充実

毎月15日号で、市と姉妹都市の締結をしている韓国・金海(キム)市の広報紙を紹介しています。

金海市は文化観光のホームページ (http://tour.gimhae.go.kr/) の改訂を完了し、2011年11月10日から本格サービスを開始しました。

今年5月に運営が始まったこのホームページは、ウェブ上で実施した「2010年金海市観光実態調査」の分析結果を基に作成された観光案内のためのホームページです。人気観光地に焦点を当て、関連部署や関連機関(金海文化財団、金海文化院など)の意見も積極的に反映し、市民が簡単に情報を検索できるように構成されています。

今回の改訂で、これまで個別に設けられていた文化観光、伽耶(カヤ)史、粉青(ブンチョン)磁器に関する情報が同じページに統合され、金海の歴史と現代の文化観光が分かりやすく表示されるようになりました。

また、金海の特産品である將軍茶作りや野イチゴワイン作りの体験、町歩きコースの紹介などの情報も追加され、金海を訪れる観光客が滞在する時に、有益な情報が増えました。

さらに、金海管内全ての関連機関の文化行事スケジュールも、このホームページで常に確認できるようになり、金海市の文化観光情報の収集に便利なホームページとして生まれ変わりました。

(金海市広報紙2011年11月22日発行から) *この原稿は、市民サービス協働化提案制度として、平成20年度から「PARAMUNAKATA」が翻訳しています

問い合わせ先 秘書課 (36) 0890